

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ リアル資産成長ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第96期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界のリアル資産関連株式<sup>\*</sup>を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<sup>\*</sup>ファンドにおいて、リアル資産関連株式とは、不動産・インフラストラクチャー・自然資源・森林といった資産の保有等による賃貸料、使用料および売買等が主な収益源泉となり、安定した収益基盤を有する企業が発行する株式を示します。以下、同じです。



## インベスコ リアル資産成長ファンド （毎月決算型）

追加型投信／内外／株式



### 第96期末(2024年1月18日)

基準価額	7,857円
純資産総額	43百万円
第91期～第96期	
騰落率	6.0%
分配金(税込み)合計	360円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 交付運用報告書

第91期（決算日 2023年8月18日）

第92期（決算日 2023年9月19日）

第93期（決算日 2023年10月18日）

第94期（決算日 2023年11月20日）

第95期（決算日 2023年12月18日）

第96期（決算日 2024年1月18日）

作成対象期間（2023年7月19日～2024年1月18日）

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

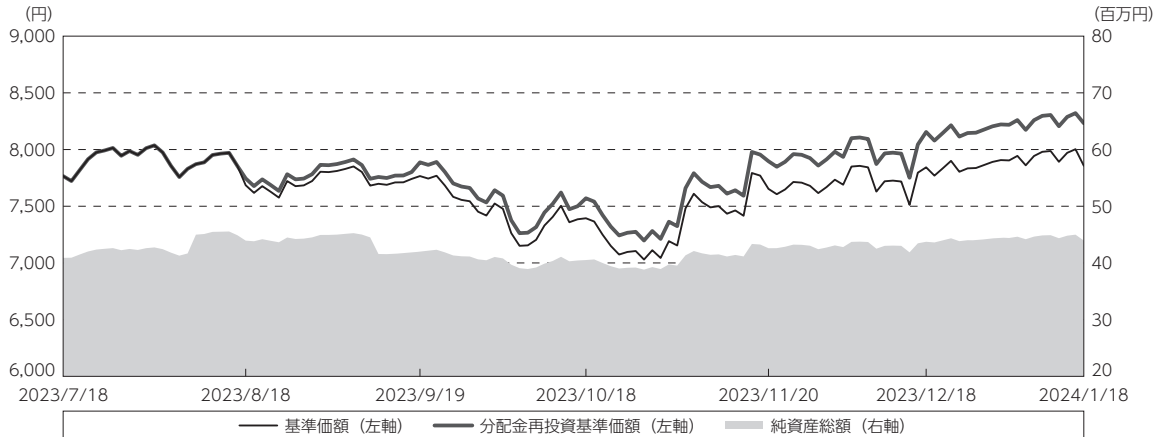


見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2023年7月19日～2024年1月18日)



第91期首：7,766円

第96期末：7,857円 (既払分配金(税込み) : 360円)

騰落率：6.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年7月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

## [上昇要因]

- ・世界のリアル資産関連株式などを実質的な主要投資対象としていることから、実質的に保有する不動産(REITを含む)、インフラストラクチャー、自然資源、そして森林関連株式から得られるインカム・リターンが基準価額の上昇要因となりました。
- ・ファンダメンタルズ分析およびESG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築した結果、商業・小売銘柄のKimco Realtyなどの不動産関連株式および携帯電話基地局銘柄のAmerican Towerなどのインフラストラクチャー関連株式が作成期中を通して堅調に推移したことが基準価額の上昇要因となりました。
- ・当作成期間中、日本と米国の金利差が意識される中で、円安が進行したことが基準価額の上昇要因となりました。

## 【下落要因】

- ・ 軟調な木材価格および決算を背景に、林業関連銘柄のCanforといった森林関連株式が作成期中を通して下落したことが基準価額の下落要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

（2023年7月19日～2024年1月18日）

項 目	第91期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 33	% 0.431	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 2 )	(0.028)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.387)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.070	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.010)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 3 )	(0.045)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	38	0.501	
作成期間の平均基準価額は、7,632円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

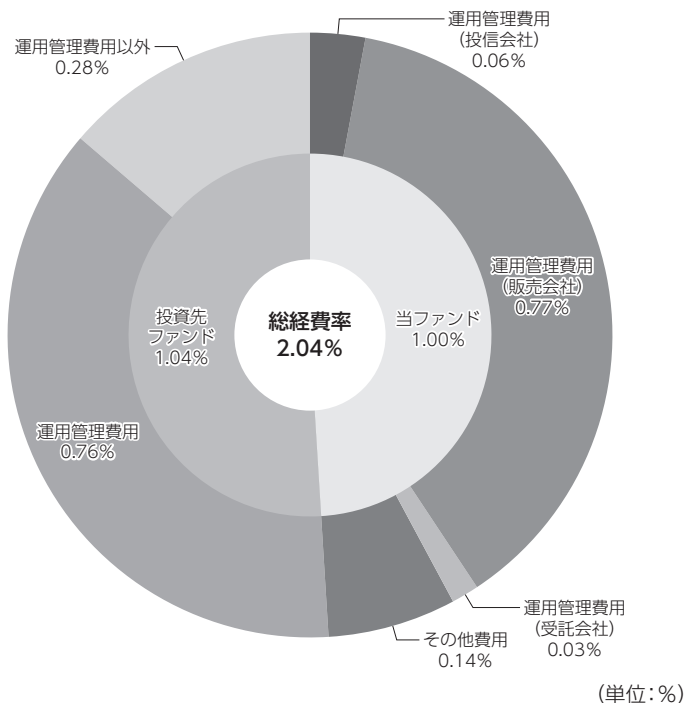
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



総経費率(①+②+③)	2.04
①当ファンドの費用の比率	1.00
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.76
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

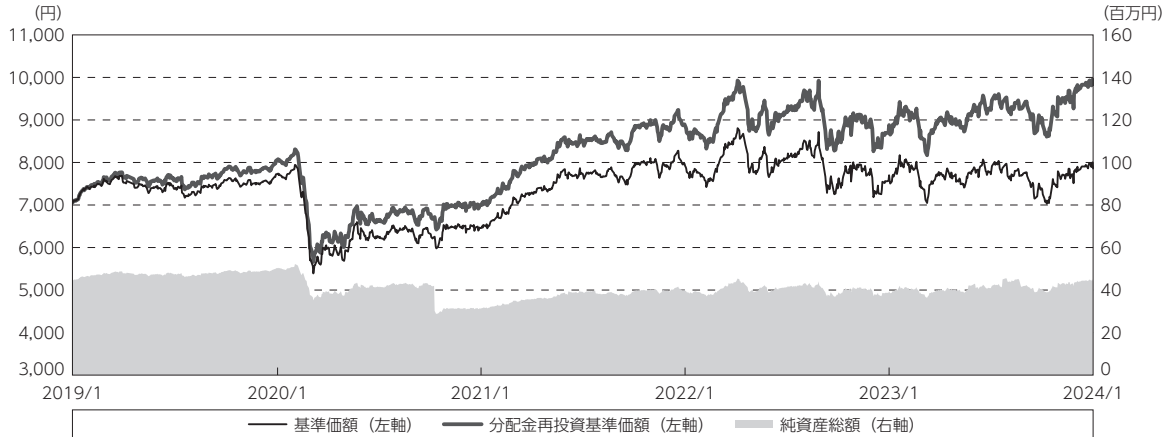
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月18日～2024年1月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2019年1月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年1月18日 決算日	2020年1月20日 決算日	2021年1月18日 決算日	2022年1月18日 決算日	2023年1月18日 決算日	2024年1月18日 決算日
基準価額 (円)	7,052	7,730	6,455	7,923	7,700	7,857
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	320	240	240	240	640
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	14.4	△ 13.3	26.7	0.2	10.8
純資産総額 (百万円)	44	50	31	39	39	43

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているリアル資産関連株式に投資するため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

（2023年7月19日～2024年1月18日）

**投資環境**

リアル資産関連株式（S&P Rear Assets Equity Total Return Index；米ドルベース）	△0.2%
世界株式（MSCI World Net Total Return USD Index；米ドルベース）	+4.0%
米ドル／円 148円26銭（前作成期末 138円88銭）	

※各指数の騰落率は作成期末時点（対前作成期末比）、米ドル／円は作成期末の数値です。

**《グローバル株式市場》**

グローバル株式市場は、2023年の年末にかけて米連邦準備理事会（F R B）による利下げ期待が高まる中でリスクオンの動きに転じたため、作成期中を通して堅調に推移する展開となりました。

米国では、作成期間を通して、インフレの鈍化や底堅い雇用の継続、そして利下げ期待の拡大などを背景に買い意欲が強まり、ハイテク株を中心に上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（E C B）による利下げ期待の拡大や長期金利の低下などが市場心理の改善に繋がり、作成期の後半にかけて上昇基調となりました。アジアでは、日本について作成期間中に発表された企業決算が好調だったほか、新N I S A開始に伴い日本株への資金流入が加速するとの期待が下支えとなり、買い基調が続きました。一方で、中国は不動産市場の低迷による経済減速懸念が重しとなり、軟調に推移しました。

また、リアル資産関連株式に関して、米国における長期金利の低下などを背景に木材需要の拡大期待が高まり、森林関連株式は作成期の後半にかけて堅調に推移しました。不動産関連株式については、長期金利の低下や利下げ期待の拡大が下支えとなり、ホテルやデータセンターR E I Tを中心に作成期中を通して上昇しました。インフラストラクチャー関連株式は、米国の携帯電話基地局銘柄などが堅調に推移した一方で、再生可能エネルギー銘柄や空港関連銘柄が軟調に推移したため、作成期中を通してほぼ横ばいでの推移となりました。自然資源関連株式については、ニッケル、天然ガス、肥料などの価格が下落したほか、弱い業績見通しなどが重しとなり、作成期中を通して軟調に推移しました。

**《為替市場》**

作成期間中、米ドル／円は、前作成期から上昇する展開となりました。米国と日本における長期金利の乖離幅が広がったことが主因となり、作成期中を通して米ドル高／円安が進行しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年7月19日～2024年1月18日)

インベスコ リアル資産成長 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc 投資信託証券 (米ドル建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人 (類似のものを含みます。)、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびE S G評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築しました。具体的には、当作成期末にかけて、ファンダメンタルズの良好な不動産関連株式およびインフラストラクチャー関連株式の組入比率を相対的に高めに維持しました。また、自然資源関連株式および森林関連株式の組入比率を前作成期と同程度に維持しました。国別配分では、米国を中心として、カナダ、英国の組み入れを高めとしました。

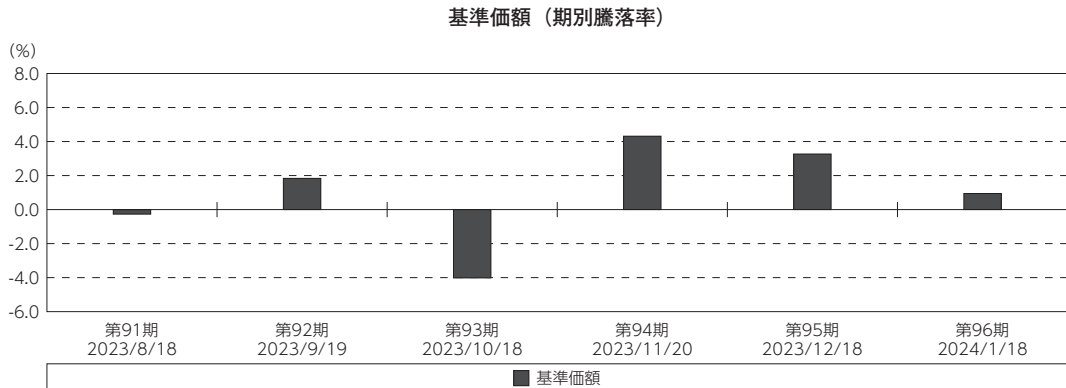
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月19日～2024年1月18日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

## 分配金

(2023年7月19日～2024年1月18日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第91期から第96期は1万口当たり60円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2023年7月19日 ～2023年8月18日	2023年8月19日 ～2023年9月19日	2023年9月20日 ～2023年10月18日	2023年10月19日 ～2023年11月20日	2023年11月21日 ～2023年12月18日	2023年12月19日 ～2024年1月18日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
(対基準価額比率)	0.775%	0.767%	0.805%	0.778%	0.759%	0.758%
当期の収益	－	－	－	－	－	－
当期の収益以外	60	60	60	60	60	60
翌期繰越分配対象額	6,410	6,350	6,290	6,230	6,170	6,110

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当ファンドは当期分配金について、「当期の収益以外」から支払っておりましたが、第92期より「当期の収益」からも支払うように変更いたしました。分配方針に変更はありません。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、世界のリアル資産関連株式に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券(米ドル建て)に投資を行います。同外国投資信託では、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人(類似のものを含みます。)、インフラストラクチャー関連企業、自然資源関連企業ならびに森林関連企業などが発行する株式に投資を行い、ファンダメンタルズ分析およびESG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。具体的には、銘柄選定において、投資対象企業の保有する実物資産のクオリティ、財務体質、経営方針などに着目します。また、地域やセクター分析を通じて相対的に高い利益および配当成長を生み出す企業を見極める方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。



## お知らせ

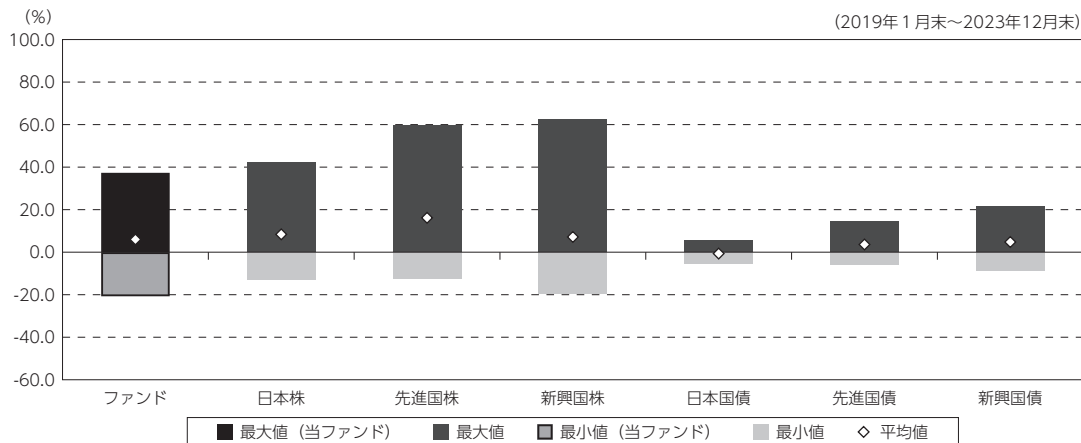
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2026年2月18日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界（日本を含みます。以下、同じです。）のリアル資産関連株式に実質的に投資することにより、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ リアル資産成長ファンド (毎月決算型)	「インベスコ リアル資産成長 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ リアル資産成長 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、世界の不動産関連企業、不動産投資信託および不動産投資法人などが発行する株式、株式関連証券、不動産投資信託証券および債券に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc 投資信託証券 (米ドル建て) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として世界のリアル資産関連株式に投資します。</li> <li>・銘柄選択にあたっては、ファンダメンタルズ分析およびESG評価に基づき、長期的な成長性および割安度を重視してポートフォリオを構築します。</li> <li>・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	6.0	8.4	16.2	7.2	-0.7	3.6	4.8
最大値	37.3	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
最小値	-20.7	-12.8	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P14の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年1月18日現在)

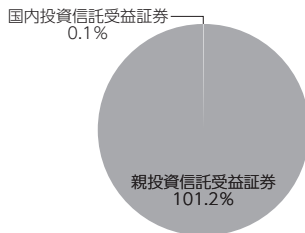
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第96期末
インベスコ リアル資産成長 マザーファンド	101.2 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

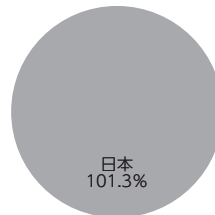
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

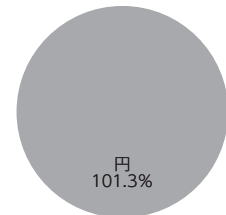
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

## 純資産等

項目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2023年8月18日	2023年9月19日	2023年10月18日	2023年11月20日	2023年12月18日	2024年1月18日
純資産総額	43,936,186円	42,012,269円	40,510,381円	42,597,295円	43,731,735円	43,950,689円
受益権総口数	57,172,203口	54,100,678口	54,786,548口	55,661,999口	55,759,081口	55,935,608口
1万円当たり基準価額	7,685円	7,766円	7,394円	7,653円	7,843円	7,857円

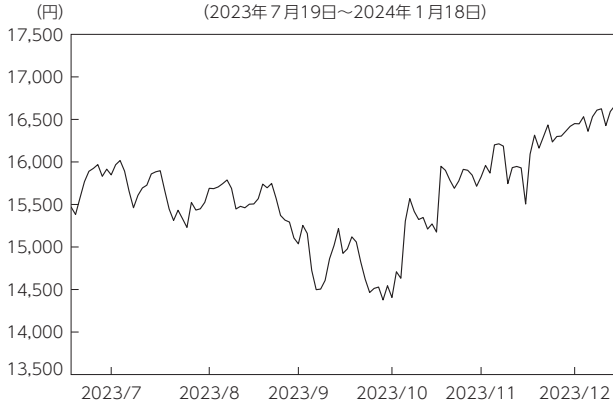
\* 作成期間 (第91期～第96期) 中における追加設定元本額は8,425,875円、同解約元本額は5,151,315円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ リアル資産成長 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年7月19日～2024年1月18日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月19日～2024年1月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 ( 保管費用 ) ( その他 )	2 (2) (0)	0.014 (0.014) (0.000)
合計	2	0.014

期中の平均基準価額は、15,542円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

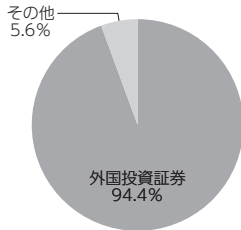
(2024年1月18日現在)

銘柄名	第16期末
インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc	94.4 %
組入銘柄数	1銘柄

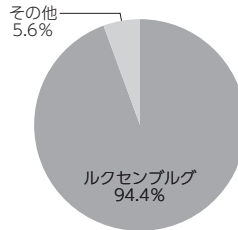
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

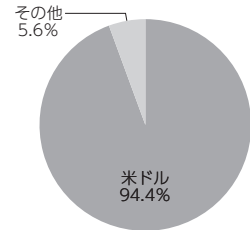
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人  
 インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド

「インベスコ 世界インカム不動産 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位 10 銘柄】

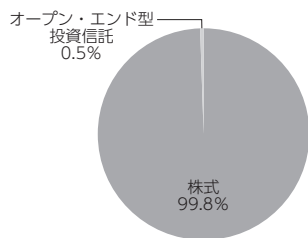
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	American Tower Corp	株式	4.7
2	Enbridge Inc	株式	4.4
3	National Grid Plc	株式	4.1
4	Vinci SA	株式	4.1
5	Cellnex Telecom SA 144A	株式	3.8
6	Prologis Inc	株式	3.4
7	Cheniere Energy Inc	株式	3.3
8	Life Storage Inc	株式	2.9
9	Targa Resources Corp	株式	2.9
10	Keyera Corp	株式	2.6
組入銘柄数		66銘柄	

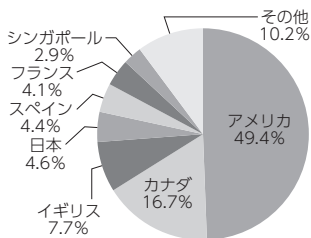
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

必要な情報が開示されておりません。

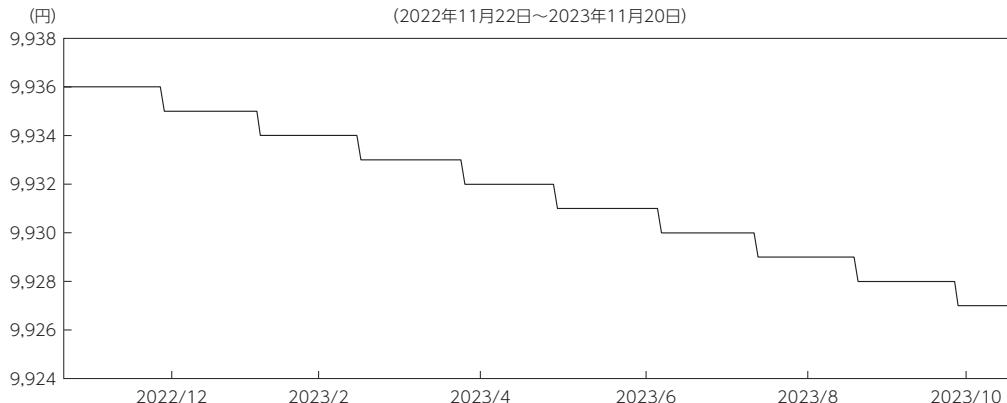
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

【基準価額の推移】

(2022年11月22日～2023年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、9,931円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

2023年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

## ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

## ○MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

## ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社が MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

## ○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

## ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

## ○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社が JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JPMorgan Chase & Co. 及び関係会社（「JP モルガン」）に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。